

<2022年度 児童発達支援 保護者向けアンケート>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっこ
中野教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	8	0	1	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	35	3	0	1	先生の数が少ないのか、事業所都合でお休みになり心配になることがある
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	4	0	1	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	37	1	0	1	部屋にたどり着くまでの動線に興味がいってしまひつらく事もあるが、それもまた勉強かな、と思う。 個別療育は完全に仕切られたスペースではないので、周りで別の療育を受けている人たちの声が聞こえたり、興奮した人が途中で走ってきたりするなど、本人の集中が逸れやすい環境が気がかりです。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[ii]が作成されているか	7	0	0	2	問題や悩みに対してもっと個別具体的な改善策や対応方法のアドバイスが欲しい。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	0	0	5	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37	1	0	1	
	⑧ 活動プログラム[iii]が固定化しないよう工夫されているか	35	2	0	2	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	/	/	/	/	
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38	1	0	0	今年度から3歳で無償化の対象になりましたが、何月の請求から切り替わるのかよくわからなかったため、年度が変わる前に説明してもらえたら良かったかと思えます。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	39	0	0	0	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[iv]等）が行われているか	27	7	0	5	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	35	3	0	1	
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	5	0	1	
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	10	6	7	保護者同士で交流する機会がないようにおもう
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	6	0	2	
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	35	3	0	1	
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	6	2	4	
⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	33	2	0	4		
非常 時 等	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	9	3	8	
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	7	3	10	訓練時に遭遇したことがないので、たまに訓練をやるべきかと思えます。 感染症対策については説明があったが、火災や地震の際の対応についてはよくわからない。
満足 度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	34	4	0	1	子どもが保育園より通うのを楽しみにしていて、にこっこを休むという嫌がりません。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	35	3	1	0	大変満足なだけに、就学後の放デイはぜひ通常級だけでなく支援級の子供にも通えるチャンスがいただくと嬉しいと思います。とても満足しています。

<2022年度 放課後等デイサービス 保護者向けアンケート>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっこ
中野教室

			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・自由記述
体制 環境 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	3	0	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1	0	0	
適切 な 支 援	③	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	9	0	0	0	
	④	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	0	
保 護 者 へ の 説 明 等	⑤	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0	0	
	⑥	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0	
	⑦	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	0	0	
	⑧	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	2	4	
	⑨	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	0	6	
	⑩	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0	
	⑪	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	1	
	⑫	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	1	
の 非 常 時	⑬	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2	0	1	
	⑭	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	0	1	
満 足 度	⑮	子どもは通所を楽しみにしているか	7	2	0	0	
	⑯	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	

<2022年度 児童発達支援事業 自己評価結果表>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	②	職員の配置数は適切であるか	○		コロナ禍において、スタッフの振替や休みが増えました。利用者の皆様にもご不便やご心配をおかけしていたので、より充実した療育を実施しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	入り口付近や階段で配慮が必要な場合には、スタッフが介助をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		個別療育の際にスペースが限られているため、必要に応じて配慮するようにしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		今年度から、より細かく行うようにしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年末に実施し、改善のための検討を行いました。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価はまだ実施しておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		教室内研修、3教室合同研修をそれぞれ毎月行っています。また、区で行われる研修にも参加しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		より利用者のニーズにより沿えるよう、スタッフ間で相談を重ねながら作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		お子さんの必要性に応じて、K式・田中ビネー・WISC・LDT-Rなどのアセスメントツールを活用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		繰り返す行うことで効果的な場合を除いては、固定化しないように心がけています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの状況に合わせた療育のタイプをご案内するようにしています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝、行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		気付いた点や今後の課題、利用者の方の意見を共有しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象児がいません

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	対象児がいません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		杉並区の児童発達相談係や中野区のゆめなりあ、すこやか福祉センターと常時連携し、ご相談や話し合いをしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	実施していません。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	参加が必要な時には、教室長(管理者)・児童発達支援管理責任者が参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者支援事業として、希望者にペアレント・プログラムを実施しました。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		就園時の無償化等の説明が具体的に行えていなかったため、次年度から改善していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	開催していません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施していません。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		職員は周知、検討する研修を行っています。保護者の方用に閲覧ファイルを待合室に設置しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年度の始めに地震火災を想定した、避難訓練を行うようになっています。今後は多くの方に参加してもらえるよう、頻度を増やすことを検討しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		成育歴を伺う際に記載してもらい、スタッフが共有しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師との連携や指示はありませんが、ご家族に生育歴シートにご記入いただき、確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	/	/	身体拘束は行いません

<2022年度 放課後等デイサービス 自己評価結果表>

公表日：2023年3月

発達支援ルーム にこっこ
中野教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			コロナ禍において、スタッフの振替や休みが増えました。利用者の皆様にもご不便やご心配をおかけしていたので、より充実した療育を実施していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		入り口付近や階段で配慮が必要な場合に大人が付くようにしています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			今年度から、より細かく行うようにしています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年末に実施し、改善のための検討を行いました。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価はまだ実施しておりません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			教室内研修、3教室合同研修をそれぞれ毎月行っています。また、区で行われる研修にも参加しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			より利用者のニーズにより沿えるよう、スタッフ間で相談を重ねながら作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			お子さんの必要性に応じて、WISC・LDT-Rなどのアセスメントツールを活用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			繰り返し行うことで効果的な場合を除いては、固定化しないように心がけています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に合わせた療育のタイプをご案内するようにしています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、行っています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気付いた点や今後の課題、利用者の方の意見を共有しています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者と	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				対象児がいません
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
関係機関や保護者と	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて、関係機関と連携しています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			杉並区の児童発達相談係や中野区のゆめなりあ、すこやか福祉センターと常時連携し、ご相談や話し合いをしています。

の 連 携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	/	/	/	実施していません。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加が必要な時には、教室長(管理者)・児童発達支援管理責任者が参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	開催していません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施していません
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員は周知、検討する研修を行っています。保護者の方用に閲覧ファイルを待合室に設置しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年度の始めに地震火災を想定した、避難訓練を行うようになっています。今後は多くの方に参加してもらえよう、頻度を増やすことを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	/	/	/	身体拘束は行いません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	医師との連携や指示はありませんが、ご家族に生育歴シートにご記入いただき、確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			